

# 評 価 証

第 2 2 0 0 1 号

## 【技術の名称】

K T B 荷重分散型本設アンカー工法  
— 岸壁・護岸の安定化工法 —

### 1. 依 頼 者

法人の名称 黒沢建設株式会社  
住 所 東京都新宿区西新宿 2-7-1-17 階  
法人の名称 株式会社ケーティービー  
住 所 東京都新宿区西新宿 2-7-1-17 階

### 2. 評価の前提

本技術の適用にあたっては、本報告書の留意事項の他、依頼者が推奨する方法で使用されるものとする。

### 3. 評価の範囲

評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、試験結果等により確認できる範囲とする。詳細は港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書第 2 2 0 0 1 号に示す。

### 4. 評価の結果

- (1) 緊張管理手法を適切に適用することにより、分散配置されたアンカー体に生ずるアンカー力が均一化し、グラウトに作用する圧縮応力度が小さくなり、アンカー体の定着機能を維持できることが確認された。
- (2) 規定の引張荷重や繰返し荷重に対して、くさび定着ナット調整方式を有するアンカー頭部の定着部の疲労・劣化がないことが確認された。
- (3) 構造物や地盤に生じた変位によってアンカーの緊張力が増減した場合でも、アンカー頭部のナットを回転することで緊張力の調節ができることが確認された。
- (4) アンカー頭部は、1.5MPa の水密性を有することが、室内試験（水密性試験）により確認された。
- (5) エポキシ樹脂による防食構造を有する PC 鋼より線は、防食性能を有することが、室内試験（塩水噴霧試験、耐薬品性試験、塩化物イオン透過試験）により確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期限は 5 年間とする。

平成 24 年 11 月 29 日 第 12001 号  
平成 29 年 9 月 29 日 (第 1 回更新)  
令和 4 年 9 月 30 日 部分変更 (第 22001 号)

一般財団法人 沿岸技術研究センター  
代表理事・理事長 宮崎 祥

